

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

ボラナビ

5月号

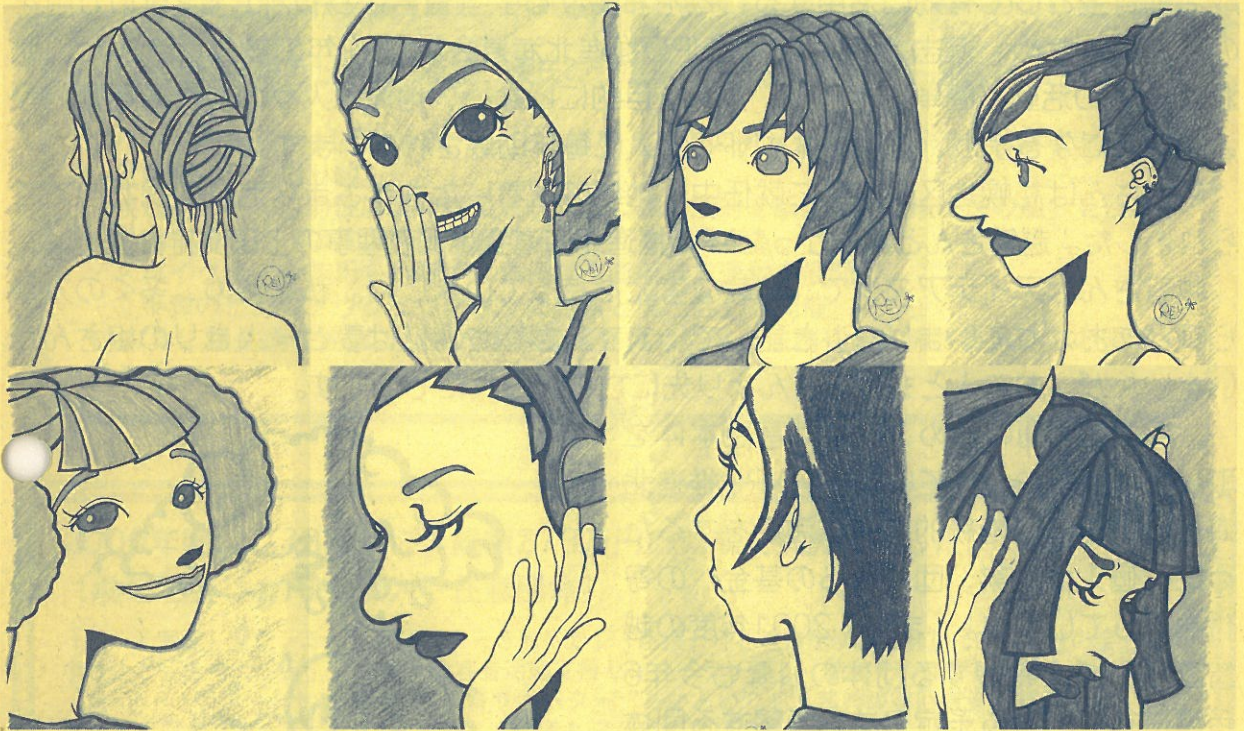
無料

4月25日発行(第33号)

ボラナビとは

ボランティアナビゲーション(案内役)
を略した造語です。

今月の表紙は、江別市の高橋玲子さん(24才)の作品です。アルバイトで行った沖縄で織物に興味を持ち、せっかく北海道にいるのだから、とアイヌ刺しゅうを始めたそうです。「いずれは模様が入った着物や洋服を作りたいなあ」とおっしゃっていましたよ。



特集

遺産をNPOに寄贈～NPO越智基金とは

新聞 遅読み!

みなさまからのお便り特集②

遺産をNPOに寄贈～NPO越智基金とは

ボラナビの協賛者名にある『NPO越智基金』ってなんだろうーと思いませんでしたか？NPO越智基金は、98年に亡くなった越智喜代秋さんが、遺産の一部をNPO活動に寄贈すると遺言に書き残していたために作られたものです。NPO活動のみを対象にした基金は全国で初めてだそうです。

NPO越智基金は、正式には「NPO活動支援 越智喜代秋 記念基金」といいます。98年4月に、肺を患って71歳で亡くなった越智さんが、「北海道における市民運動育成活動資金として有効に活用することを希望する」（遺言より抜粋）と2500万円をのこされたため、遺志を受け継いだNPO推進北海道会議が99年に設立しました。北海道のNPO活動（簡単に言うと、営利を目的にしない、地域や人々のための活動）がより活発になるよう、任意団体やNPO法人に毎年助成されています。

越智さんは札幌地区労議長に就任中、地域に密着したさまざまな活動に携わってこられました。越智さんと親しかったNPO推進北海道会議代表理事の上田文雄弁護士は、「越智さんはアイデアマンで、柔軟な考えを持っていました。私を含め、多くの人から師とあおがれていました」と話しています。越智さんには妻と一人きりの娘さんがいましたが、お二人とも越智さんより先に亡くなられたそうです。

いまは低金利のため、助成は基金本体を取り崩して行なわれています。NPO推進北海道会議では、継続的な助成活動をするために、個人や企業、団体からの基金への寄付を募っています。また、2001年度の越智基金助成を希望する団体の公募も今年6月頃に行なわれる予定です。希望する団体は会報誌「北海道NPO情報」をご購読ください（購読料 一年間2000円）。越智基金は、他の助成金によくある「用途についての制限」はありません。団体の活動目的を達成するための機器整備や人件費に使うことも可能です。



北海道NPO推進北海道会議

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

札幌市北区北11条西4丁目1-29

TEL 011-716-3369 FAX 011-716-2899

URL <http://www.infosnow.ne.jp/hashinet/>



越智喜代秋さんのプロフィール

- 1926年 札幌に生まれる。
- 1948年 北海道第一師範学校を卒業。札幌郡白石村立白石中学校を皮切りに、教職員の道を歩み始める。
- 1954年 北教組本部中央執行委員に就任。以後、北教組本部副委員長などを歴任。
- 1977年 札幌地区労議長に就任。さまざまな活動を展開。

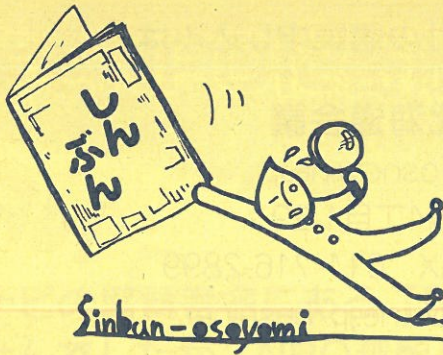
〔活動の一部〕

- ・合成洗剤追放市民会議を結成。合成洗剤の有害性を広め、せっけんへの切り替え運動を展開。
 - ・市民団体と協力し、丸木位里、俊氏の「原爆の図」展を開催。一週間で1万7千人の市民が鑑賞。
 - ・パート労働者の組織化を図り、「札幌パートユニオン」結成。パートユニオン共済制度の発足にも取り組む。
 - ・幌延高レベル放射性廃棄物貯蔵処理施設の誘致反対を訴える「反核道民の船」を運航。動燃や科技厅への抗議行動、都内デモなどを展開する。
 - ・スパイクタイヤ使用を規制する条例制定直接請求運動を展開。
 - ・「平和のためのアウシュヴィッツの証言と展示会」を開催。
- 1987年に議長退任後は、札幌市選挙管理委員会委員、法務省人権擁護委員などの要職を務める。

2000年度は、38団体に、総額273万円の助成を実施しました。

〔助成を受けたNPO法人や任意団体〕

「わっく室蘭」「ファミリーサポーターさわやか」「応援」「札幌自由学校 遊」「市民交流会」「苦小牧生と死を考える会」「札幌・障害者活動支援センターライフ」「障害児の教育と福祉を進める会」「旭川NPOサポートセンター」「保育サポーター“あいあい”」「精神障害回復者小規模施設 石狩はまなす館」「ホームヘルパーノア」「介護ホームどんぐりの家」「札幌ベトナム協会」「2002年第6回DPI世界会議札幌大会組織委員会」「ボランティアサークル手と手」「言語障害児を持つ親の会 北海道協議会」「栗山町手をつなぐ親の会」「循環(くるくる)ネットワーク北海道」「いぶりたすけ愛」「虹の家」「しりべつリバーネット」「北海道在宅福祉協議会」「かもめ保育園」「北海道断酒の会」「銭函学童クラブ 子てんぐ」「介護ホーム ほたるの家」「琴似日食倉庫コンカリーニョ」「北海道NPO団体情報交流(NHIREニレ)」「北海道セクシュアルマイノリティ協会(HAS)北海道ミーティング」「札幌チャレンジド」「心のかけ橋・虹」「たすけあいワーカーズ エルサ」「ボラナビ倶楽部」「北海道グリーンファンド」「NODE編集委員会」「葬送を考える市民の会」「介護の社会化をすすめる一万人市民委員会・札幌」



新聞

遅読み!

各社の新聞には、NPO、地域、福祉などなど興味深い情報がいっぱい。古くても「これは多くの人に知らせたいなあ」というような記事を集めてみました！（このコーナーは、たぶん、何度か続きます。取り上げて欲しい記事がありましたら、新聞社名と掲載日を明記してボラナビ倶楽部にFAXしていただくと嬉しいです）。

子どもの施設と高齢者施設を隣り合わせて作り、幼い世代とお年よりの世代との交流を図る建物が各地にできている。

大阪にある社会福祉法人は、高齢者のデイサービスセンター（日帰り介護施設）と保育所を一緒に設けた。誕生会、敬老会、運動会など、保育園児と高齢者が一緒に遊ぶイベントもある。センター長「子どもたちはお年寄りに優しく接することの大切さを学ぶし、高齢者は子どもが遊ぶ姿を見るだけで心がいやされるようだ」。

(01/01/01 日本経済新聞)

長崎県大村市は、道路や公園、バス停などを自分の子どもに見立て、市民がボランティアで掃除する「里親制度」を導入する方針。市民にゴミの投げ捨て防止など環境美化に対する意識を持ってもらうとともに、業者への清掃委託費用を節減するのが目的。市は各種ボランティア団体や各地区の町内会などに協力を働きかけていく。各団体は希望する場所を市に申請、定期的に清掃を行なう。団体だけでなく市民個人からの申し込みも受ける。

(00/02/22 北海道新聞)

企業が得意分野のノウハウをいかして、大災害時の緊急救命医療をサポートするNPOを設立。医師や看護婦らが被災現場に駆けつける際、すばやく交通と宿を確保してあげる「緊急時ツアー」を旅行会社の協力で作ったり、災害時ボランティア保険の新設、災害対応の情報通信機器やおいしい非常食の開発を各専門企業の協力で作ったりなどのアイデアが挙がっている。

支援と協力を表明している企業はすでに約20社。<http://www.jvmat.or.jp>

(01/01/17 朝日新聞)

デンマークには、人口の23%を占める60歳以上の消費者をねらって、戦略的にシニア店員の採用を始める企業が多い。

首都コペンハーゲン最大のデパート「マガジン」では、61歳のスタッフが客に靴を勧めている。販売主任「20代の店員に無い信頼感があり、指名する客も多い」。現在10人程度のシニア店員を今後はさらに増やす予定。国内最大のスーパー「ネット」は、店員年齢を45～67歳に限定する実験店を開店。旅行会社「スターツアーズ」は、50代添乗員の定期採用を始めた。

(01/01/03 読売新聞)

札幌の姉妹都市、アメリカのポートランド市が運営する「パークアンドレクリエーション」では、市内の240の公園を管理するため、年間6000人以上のボランティアスタッフが働いている。

小学生から80代までが、能力と時間に合わせて仕事内容を選んでいる。年配者は公園の植樹や清掃などを行なうことが多い。中学生は、市営プールで子どもの面倒を見たり、バスケットボールチームのアシスタントをしたり。会社帰りのお父さんは少年野球チームの監督をやったりしている。コーディネーターのスティーブン氏「ボランティアの人たちは、われわれスタッフの一員だと思っている。給料は払っていないが、公園管理の仕事をする人には職員と同じ制服を支給するし、素行の悪い人はクビにすることだってあります」。

(01/02/23 日刊スポーツ)

高齢者のための地域参加型コンビニエンスストアを、美幌町内の商業者や町民らが今年の夏、実験的に美幌駅近くに作る。衣料品や総菜など、お年寄り向けの品揃えと、畳敷きの休憩スペース、車イスでも入りやすいスロープやトイレを整え、地域のコミュニケーション広場を目指している。店番は住民や学生が交代で行なう。

(01/01/25 北海道新聞)

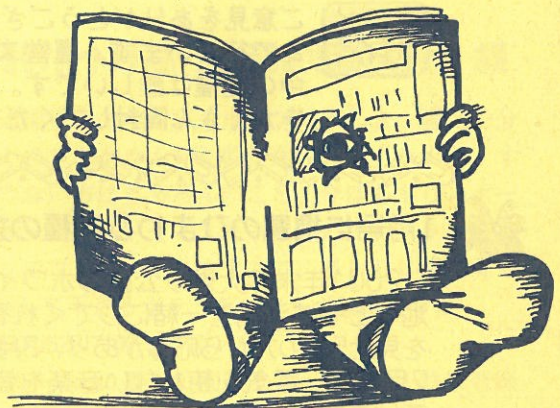
患者と医師のパイプ役となって、訪問診療を広げようというNPO法人リンクが全国で始めて横浜市内で旗揚げし、活動を始めた。

コーディネーターやボランティアは、商店主や民生委員、介護ヘルパーなど140人。協力医師は今の1人から4人に増える予定。理事長の原田さん「地域を見回せば、病院に通うのが難しい高齢者が増えてきた。一方で、医者にはそんな患者の所在が分からない。双方を結びつけるのは時代の要請」。

(01/01/26 日本経済新聞)

昨年の国民生活白書によると、ボランティア活動に参加意欲を持つ国民は65%。だが、全国社会福祉協議会が把握するボランティアは、99年度で約696万人。活動を始められない要因は、「時間がない」が63%、「ボランティア団体の情報がない」が41%で多かった。だが、全国ボランティア活動振興センターの和田敏明所長は「活動している人といない人で、自由時間に差はなく、本当に興味があれば始められる」とみる。

(01/01/29 読売新聞)





みなさまからのお便り特集②

ボラナビ倶楽部では、みなさまからのお便りをお待ちしています。メール、FAX、お手紙などでどうぞお寄せください。よろしくお願いします。



去年7月号と今年2月号に掲載のNTT東日本札幌病院さん

昨年7月号に、病院ボランティア活動を始めにあたりボランティアさんを募集と書いていただきましたところ、連絡を下さった13人の方に、総合案内として平日午前に活動していただけることになりました。その後、平日午後小児科での本の読み聴かせ等の活動もしていくことになり、再度ボラナビ2月号でご紹介いただきましたところ、5名の方にお電話いただき、早速「体験ボランティア」として実際の活動を体験いただきました。ボラナビさんのお陰でたくさんの方に参加いただいています。ありがとうございます。今後も活発に活動していきますので、ボラナビ読者の皆さんの参加をお待ちしています！



2月号に掲載の札幌自由が丘学園 亀貝さん

先般のボラナビの記事（不登校や高校中退の若者たちへの学習支援ボランティアボ集）で20人前後の方からお問い合わせがありました。子供たちとボランティアさんのスケジュールを合わせるため、4月半ばに話し合いをする予定です。私たちのホームページがありますので、よろしければご覧になってください。
<http://www.sapporo-jg.com/>



読者、高橋さん

ボラナビの集いの曜日や時間が、学生、お勤めの方中心の設定なので、家にいる私は、昼食を出してから、夕食の片付けが済んだら、となりなかなか出られません。お盆にあった時は出られたのですが。場所も、慣れたから変えないで欲しいという人もいるでしょうが、時には変化があってもいいのではないのでしょうか。

ボラナビ
スタッフ
より

ご意見をありがとうございます。5月の集いは場所を変えて、ちえりあで行ないます。運営スタッフが学生や社員なので、今は平日中の開催は難しいです。ごめんなさい…。（高橋さん、未使用切手をたくさん同封してくださって、ありがとうございました！）



1月号に掲載のひまわりの種の会 新保さん

2001年末の大通り公園のホワイトイルミネーションを環境に優しい太陽電池でともし活動と一緒にしてくれる仲間ボ集で掲載いただきました。ボラナビを見た5人の方から応募があり、3月に総勢23人で実行委員会を立ち上げました。7月には、電気を使わない音楽を皆さんに聞いていただくコンサートを予定しています。

☆まだボ集しています!☆



3月号に掲載の札幌市青年赤十字奉仕団さん

ボラナビに札幌市青年赤十字奉仕団の団員ボ集をお願いしたところ、毎週多数の問い合わせがあり、8名の方が団員登録をして下さいました。これだけの反響があるとは思いませんでした。これからも団員一同で様々な活動を通じて、ボランティアを受ける側のニーズに応えていけるよう努力していきたいと思えます。なお、ボ集は引き続き行っていますので、ご関心のある方はぜひご連絡ください。

3月号に掲載された内容

常時

青年赤十字奉仕団と一緒にボランティアしませんか

●**内容**：札幌市青年赤十字奉仕団は、日本赤十字社のボランティアグループとして、児童養護施設への訪問活動、赤十字事業への協力、献血推進活動などを行っています。メンバーは学生・社会人混合です。18歳から35歳までの子どもの好きな方、ボランティアを始めてみたいと思っている方、経験がなくても大丈夫です。一緒に活動しませんか？随時説明会を行います。見学のみでも大歓迎ですので、お誘い合わせの上、是非お越しください。

●**活動日時**：児童養護施設への訪問は原則として月1回、日曜日。他に、活動の準備、連絡、研修などを毎週火曜日の19:00～21:00に行っています。献血推進などの、赤十字事業は、キャンペーンなどにあわせ、不定期の活動になります。

●**活動場所**：日本赤十字社北海道支部（中央区北1条西5丁目 地下鉄大通駅下車5分。斗南病院向かい）

●**連絡先**：TEL 011 - 231 - 7126（毎週火曜日19:00～21:00の間、札幌市青年赤十字奉仕団を呼び出してください）。HPは、<http://www.hokkaido.jrc.or.jp/>
ボランティアの項目から「札幌市青年赤十字奉仕団」へアクセスしてください。



3月号に掲載のスペシャルオリンピックス日本一北海道 札幌地区さん

ボラナビのおかげで、数多くのアスリート（知的発達障害者）の問い合わせがありました。また、コーチボランティアのほうもボラナビを見てプログラムに参加してみたいという方が数多くいまして、かなりの反響です。スペシャルオリンピックスの存在が少しでも広まったこと、ほんとに嬉しく思います。今も、コーチボランティアと送迎ボランティアのボ集は続いていますので、よろしくお願ひします。

3月号に掲載された内容

常時

知的発達障害者をサポートするスポーツコーチおよび送迎ボランティア ボ集

●**内容**：スペシャルオリンピックスでは、知的発達障害者とともにスポーツの楽しさ・喜びを分かち合うさまざまなプログラムを実施しており、そのプログラムで知的発達障害者をサポートするスポーツコーチをボ集しています。コーチ経験のない方ももちろんのこと、今はあまりスポーツをしていないという方も大歓迎です。現在、水泳・ボーリング・スキーなどのプログラムを実施し、好評です。この他、あなたの好きなスポーツでコーチができますので、どしどしご応募ください。また、知的発達障害者のアスリートを送迎して下さいるボランティアもボ集中です。

●**問い合わせ先**：yukinori@violin.ocn.ne.jp TEL 090-9528-7107（若原）

●**備考**：水泳プログラムの見学を、毎週日曜日14:30～15:30 豊平公園温水プール（地下鉄東豊線「豊平公園駅」下車）にて実施しています。見学は事前にご連絡をお願いいたします。



ボラナビでは、今、7月号に掲載する情報を集めています。5月25日までに、最終ページにあるボラナビの宛先までお寄せください。

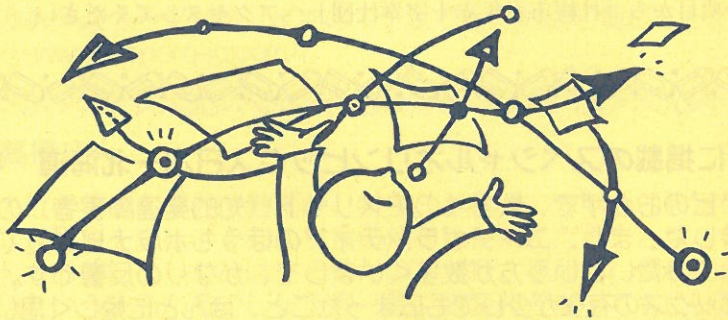
イラスト：タケダミヲ

常時 不登校や友達のいない子たちの文通相手になります

●**内容**：私たち「チェーリング」は、不登校やひきこもり、友達のいない子や悩みのある子（主に小・中学生）の文通相手になるサークルです。メンバーは、17歳の通信制高校生が中心で元不登校経験者もいます。上手なアドバイスはできないけれど、手紙を通して友達になって、笑顔にさせてあげたいというのが、私たちの願いです。あなたにあったメンバーがお手紙を書きます。お気軽にお手紙ください。また、同時にメンバーもボ集しています。年齢・性別は問いません。「不登校の子と文通したい」と思われる方も下記までご連絡ください。

●**文通希望の方**：下記の住所までまずはお手紙ください。初回のみ返信用の切手80円を同封してください。なお、FAXでの文通申込みも受け付けています。

●**連絡先**：〒004-0004 厚別区厚別東4条5丁目7-9「チェーリング」三浦 TEL/FAX 011-897-1719



常時 夜間介護ボランティア ボ集

●**内容**：私は、筋ジストロフィーの女性（56才）です。現在、電動車イスで生活していますが、夜間、トイレ介護や寝返り移動などのお世話をして下さる方を探しています。女性の方であれば年齢は問いません。よろしく願いいたします。

●**日時**：日曜日～木曜日 22：00～翌朝9：00（時間相談可、仮眠あり）

●**場所**：北区屯田6条12丁目1-1-114

●**連絡先**：TEL 011-771-6397 尾形

●**備考**：交通費1回500円まで支給いたします。

常時

一緒に活動しませんか

●**内容**：私たち「小樽BBS会」は、何らかの原因で非行に陥ってしまった少年、または陥りそうになっている少年と一緒に悩み、相談に乗りながら明るい方向へ歩みだす手助けをする活動をしています。具体的には①問題を抱える少年とともだちになり、立ち直りを手助けする②少年たちと地域や施設でのボランティア活動③児童養護施設（黒松内つくし園）の子どもの交流④年に1回会員がともだち感覚で悩み事に対応する「悩み事電話相談・ともだち電話」などがあります。このような活動を一緒にやったださる18～35才くらいまでの会員を募集しています。興味のある方はご連絡ください。

●**主な活動場所**：小樽市花園4丁目21-1 小樽市青少年センター

●**連絡先**：TEL 0134-22-5904（小樽市青少年センター）

または PHS 070-5602-7249（斎藤友貴彦）

5月のボラナビの集いの
ゲストスピーカーです。

常時

子どもの野外活動プログラムに関するボランティア 募集

北海道自然文化教育促進会は、自然・文化面に関する教育を促進するため、余市・小樽・札幌地区を中心に、幼稚園年長児～中学生を対象とした野外プログラムの企画運営を行っている団体です。発足して今年で13年目、3月には念願のNPO法人の認定を受け、新たな展開を迎えました。そんな促進会のお手伝いをしてくださる方を募集しています。

<ネイチャーガイド>

●**内容**：自然をいろいろな角度から眺め、自分の言葉で相手に伝えていきましょう。対象は幼児～お年寄りまで、ツアーはガイドの個性でつくりあげていきます。

●**期間**：6月頃～（随時研修を行います）

●**時間**：9：00～18：00

●**場所**：赤井川村近郊

●**募集人数**：2名

●**その他**：1回の活動につき5500円＋交通費をお支払いします。また、食事は支給、宿泊施設もあります。

<幼少年のためのアウトドアスクールスタッフ>

●**内容**：幼少年を対象としたアウトドアスクールで、グループリーダー（キャンプカウンセラー）として子どもと共に行動し、一緒に考え、行動します。時にはお父さん・お母さん、時にはお兄さん・お姉さん、そして友達の間係を築き上げましょう。

●**日時**：毎月第2・4土曜日または、第2・4土、日曜日9：00～18：00（変動あり）

●**場所**：小樽、札幌近郊

●**その他**：1日5500円＋交通費（1000円）をお支払いします。子どもが大好きな方を募集しています。

●**連絡先**：北海道自然文化教育促進会 TEL 0134-54-6468 FAX 0134-52-0007

小樽市望洋台2-14-1 望洋ヴィレッジ

5/16**字幕付映画を上映します**

●**内容**：耳の不自由な方にも映画を楽しんでいただくため、主婦らが中心となって映画に字幕を付ける活動をしている視聴覚ボランティア・レインボーです。私たちが字幕付けをした映画の試写会が下記のとおり開催されます。入場は無料。一般の方の参加も可能ですので、是非映画を楽しみにいらしてください。

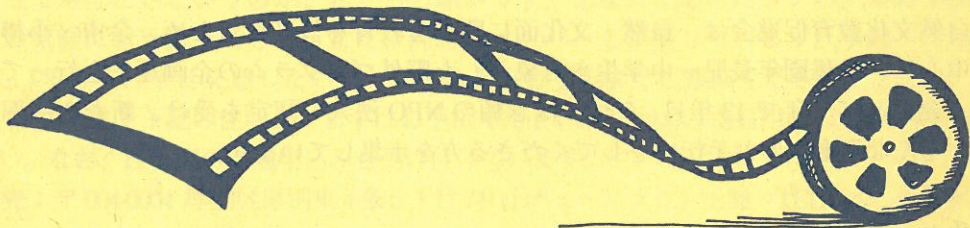
<上映作品>

- (1) ぼくの家にはカバがいる (48分) 字幕付～動物いっぱいの動物公園を舞台に生命の尊さを涙と笑いで描いた感動の物語
- (2) 日本の絵画のよさ (20分) 字幕付～日本の絵巻物や浮世絵等と西洋絵画を比較しながら日本絵画の構図や色彩をあらためて見つめなおす作品
- (3) ねぶた祭り～津軽人の夏～ (34分) 字幕付～青森ねぶたを中心に、ねぶたの制作過程を追い、連綿と受け継がれたこの祭りの起源と民衆の心を探る

●**日時**：5月16日(水) 10:00～12:00

●**場所**：教育文化会館4階講堂(中央区北1条西13丁目東西線西11丁目駅徒歩5分)

●**問い合わせ先**：TEL/FAX 011-583-1081(大居)



★
3月の集い

春の日差しががすかな暖かさを残すような午後の中、3月の集いは行われました。ゲストスピーカーとして来ていただいたのは、家族や仲間と多言語を楽しむ活動をされているヒッポファミリークラブの方々です。

ヒッポファミリークラブでは、様々な年代の方がメンバーとなっています。地域ごとに毎週一回集まる「ファミリー」と呼ばれる場では、ヒッポオリジナルCDやテープを使って遊んだり、お互いの体験を楽しく語り合ったりなど、まるで多言語の公園のような場の雰囲気にも包まれているそうです。年齢にとらわれずに話すことによって作られる枠のない人間関係の中、英語の他、タイ語、広東語、ポルトガル語など15ヶ国語にも及ぶ言語が飛び交っているので、自然と耳には多くの音が入り、赤ちゃんに代表される言語の自然習得が誰にでもでき、いくつもの言葉を話せるようになるそうです。

また、現在23ヶ国の家族ぐるみのホームステイ交流が実施されており、海外からのホームステイ受け入れも100ヶ国以上、年間4000人を越える規模に膨らんでいます。国や人種を越えた交流は、言葉の習得だけにとどまらないことでしょう。

(ボラナビスタッフ 玉置友子)

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-557-761

ホームページ <http://www.lexhippo.gr.jp/>

5/25 第7回親業ほっと講演会

●**内容**：少子化、核家族化、情報化……大人も子どもも忙しい。人と顔を合わせなくても、言葉を交わさなくても大抵のことができる。親子だから、家族だから、それだけで心が通い合うと安心してはいられません。今、私たちひとりひとりが心を通わせることを意識してコミュニケーションを行わなければならない、そんな時代になってきています。「親業ほっと」は親業訓練インストラクター6人のグループで、1999年7月の結成以来、特に親と子の心の通うコミュニケーションの取り方を中心に講演会を行ってきました。第7回の講演会では、親と子ども、夫と妻、生徒と先生、患者と看護婦、上司と部下の関係で、日常生活に生かせるコミュニケーションのコツを小さな劇をしながら紹介します。講演会はどなたでも参加できます。ぜひ足をお運びください。

●**日時**：5月25日（金）10：00～11：30（受付9：30から）

●**場所**：札幌市女性センター 2F 第1研修室（中央区大通西19丁目）

●**参加費**：1,000円（資料代含む）

●**定員**：100名

●**問い合わせ先**：TEL 011-820-4415（青柳）011-855-1805（高橋）

●**備考**：「親業訓練」は、臨床心理学者トマス・ゴードン博士（米1918年～）が始めた親子の人間関係を基本にしたコミュニケーションの基礎的訓練です。

常時 託児ボラ ボ集

●**内容**：親と子の関わりを学ぶ「プチひまわりの会」では、月1回の勉強会の時に別室（託児室）で0～4歳位の子どもたち（5～20人）をみて下さる方をボ集しています。子どもは双子が多いのですが、必ず経験者と組みますので、子ども好きな方なら年齢・性別・経験は問いません。よろしく願いいたします。なお、交通費は当方で負担しますが、ボランティア保険はご本人負担となります。

●**日時**：月1回 平日10：00～12：00

●**場所**：女性センター（中央区大通西19丁目）

●**連絡先**：TEL/FAX 011-842-7137（丸山）

常時 一芸や特技を披露して下さる方ボ集

●**内容**：デイサービスセンター「幸栄の里」では、施設にいる高齢者の方に一芸や特技を見せて下さるボランティアの方をボ集しています。歌、手品、楽器の演奏等、何でも結構です。是非ご連絡ください。

●**場所**：デイサービスセンター「幸栄の里」豊平区月寒西2条5丁目1-2

●**連絡先**：TEL 011-854-2784（担当：吉木）

6/22~
24

「チェルノブイリの子どもたち おいでおいでバザー」にご協力ください

●**内容**：旧ソ連邦チェルノブイリ原発で大事故がおき、4月26日で満15年になります。今も周辺地域では放射能汚染が続き、その被害はますます深刻となり拡大しています。汚染地に健康な子どもはいないと言っても過言ではありません。チェルノブイリのかけはしでは、汚染地で暮らす子どもたちを放射能から疎開させることを目的に、ホームステイ形式で日本の家庭に受け入れて10年となります。今年もその渡航費捻出のためにバザーを行います。このバザーへのバザー品提供および運営スタッフを募集しています。クリーンな大地と空気、水、食事、温かな家庭と楽しい友達—北海道で暮らす私たちにとって当り前のものが、チェルノブイリの子どもたちにとって、生きる希望と健康のプレゼントとなります。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。なお、バザーの収益金は全てチェルノブイリのかけはしに保養渡航費用として募金されます。

<バザー品提供のお願い>

●**バザー品**：衣料品、日用雑貨、贈答品、食器、アクセサリ、CD、本など。衣料品は洗濯済みの物を、紳士・婦人・子ども等種類別に分けて頂けると助かります。また、下着、タオル、シーツ類は未使用の物を願います。なお、大型家具、家電品の取り扱いはできません。

●**提供方法**：誠に勝手ながら、チェルノブイリのかけはし事務所（住所下記）に直接お届けください。受付時間は月～土曜日10：00～15：00です。

<ボランティアスタッフのボ集>

●**日時**：①事前ボランティアバザー開催日までの月～土曜日11：00～15：00

②当日ボランティア

・6月22日（金）16：30～20：00

・6月23日（土）9：00～17：00

・6月24日（日）10：00～17：00

●**仕事の内容**：①は仕分け、運搬などの作業、

②は運搬、荷物整理、値つけ、バザー販売、片付けなどです。

●**作業場所**：①はチェルノブイリのかけはし事務所、

②は札幌市社会福祉総合センター（中央区大通西19丁目）となります。

●**問い合わせ先およびバザー用品の受付**：チェルノブイリのかけはし事務所

（中央区南17条西6丁目1-1）TEL/FAX 011-511-3680

常時

不登校の子どもたちの話し相手になってください

●**内容**：「海の会」では、不登校の子どもたちを定期的に訪ね、話し相手や遊び相手になる活動を続けています。私たちと一緒に、子どもたちの家を訪問したり絵ハガキを送る活動をしてくださる方を募集しています。

●**活動場所**：札幌および小樽市内

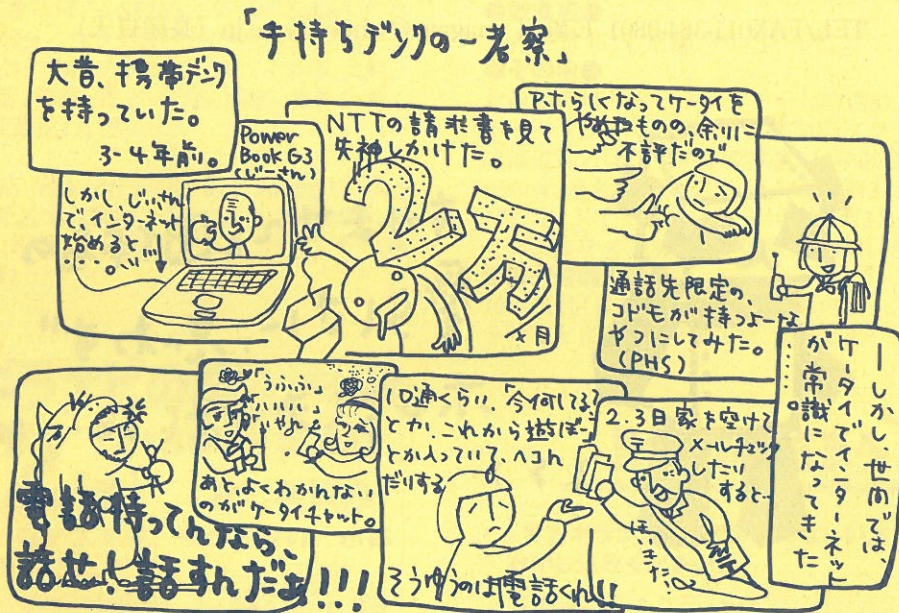
●**連絡先**：海の会（小樽市汐見台1-6-19）TEL/FAX 0134-32-7347（鈴木）

常時

お琴の演奏に伺います

●**内容**：グループ夢絃（むげん）は、お琴の演奏でのボランティアを中心に活動を続けておりますボランティアグループです。ボラナビに仲間ボ集の記事を掲載していただき、現在6名の琴仲間が集まって、ナツメロ、アニメ、童謡、演歌、流行歌などを練習し活動しております。各施設や学校、高齢者共同住宅、ボランティアサークルなどでのイベントやパーティ、または在宅ケアをされている方のお誕生会など、人数の多少に関係なく演奏でのプレゼントをさせていただきたいと思っています。札幌市内・外でも詳細は電話またはFAXにて、ご遠慮なくお問い合わせください。引き続きグループのメンバーもボ集しております。

●**問い合わせ先**：グループ夢絃 TEL/FAX 011-854-4056（米倉）



常時

ラジオのパーソナリティーおよびスタッフ ボ集

●**内容**：私たちは札幌のコミュニティーFM「FMアップル」で、毎週月曜日夜8時から9時まで、高校生が作るラジオ番組「落書き high school メイツ!」をやっています。高校生による高校生にしかできないラジオをモットーに、パーソナリティーはもちろん、ミキサー、企画、放送作家など全て高校生で番組を作っています。新年度を迎え、新1年生を中心に新たにメンバーをボ集しています。ラジオが好きな人、いろんな企画を立ててみたい人、面白い事をやりたい人、素人でもかまいません。私たちと一緒に番組を作ってみませんか？

●**応募要領**：応募資格は、基本的には高校生ですが自称高校生でも可。連絡先、氏名をご記入の上、ハガキまたはFAX、Eメールにてご応募ください。

●**問い合わせ・応募先**：〒062-8575 FMアップル「落書き high school メイツ!」メンバー募集係
(住所は必要ありません) FAX 011-813-4222
E-Mail : rakugaki@apple.club.ne.jp

5/5**パンダ募金のお手伝いボランティア 募集**

●**内容**：パンダクラブ北海道は、昭和 57 年に WWF（世界自然保護基金）の総裁エジンバラ公が来札された時、募金活動を行ったことをきっかけに WWFJ（世界自然保護基金日本委員会）の会員が集まって発足した団体です。現在、WWF に協力しながら、足元の自然を守るため、自然観察会や募金活動を行っています。今年も来る 5 月 5 日に世界の野生動植物保護のための募金活動を予定しています。その募金活動のお手伝いをしてくださるボランティアの方を募集しています。是非皆さんのご協力をお願いいたします。なお、募金は全て WWFJ に送金されます。

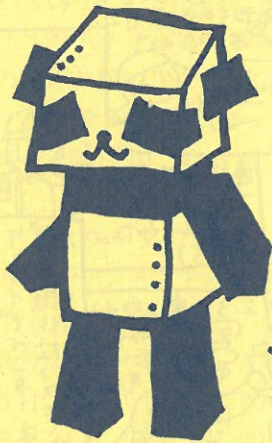
●**日時**：5 月 5 日（土）10:00～15:00（雨天の場合は 6 日（日）に延期）

●**場所**：札幌市円山動物園 正門前

●**備考**：ご協力いただける方は、5 月 5 日 10:00 円山動物園正門前に直接お越しください。

●**連絡先**：パンダクラブ北海道（中央区北 3 条西 26 丁目 1-12-303）

TEL/FAX011-384-0801 E-Mail：nagaya@whitecity.ne.jp（長屋貞夫）



すみません。団体名の
愛らしさに、思わず
ホレてしまいました...♡

**5/17~
30****空知管内 雨竜町で農作業体験してみませんか？**

●**内容**：田植、苗付け等、農作業の繁忙期にあなたの手を必要としています。農家あるいは近くの B & B（※）で、地元の方と宿泊交流しながら土に触れ、食を創る喜びに触れてください。車のある方歓迎します。経験不問。詳細はお問い合わせください。

●**期間**：5 月 17 日～30 日の農作業繁忙期のうち 1～6 日間程度

●**時間**：8:00～18:00（時間相談可）

●**場所**：空知管内雨竜町近郊の農家

●**連絡先**：北海道 B & B 協会 TEL/FAX 0125-78-3890 携帯 090-1385-1218（担当：ひろた）

●**備考**：※北海道 B & B 協会は、都市と農村の交流を推進する非営利の任意団体です。

会の詳細は HP（<http://www.bandb.co.jp>）をご参照ください。

ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道浅井学園大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学、札幌大学、酪農学園大学

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー、マックスバリュ<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カスタームー東苗穂、月寒中央)

●書店●

文教堂 本の店 岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ピヴォブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストエージ 市内全店、TSUTAYA(北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、SY遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公衆、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、JTインフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

5月のボラナビの集い

5/12 (土) 13:30~15:30 初心者歓迎!

5月の集いのゲストは、9ページの「小樽BBS会」さんです。

場所：ちえりあ サークル活動室4
西区宮の沢1条1丁目

会費：300円。

いつもと
会場が違います

予定 **6月は24日(日) 13:30~15:30**

場所：環境サポートセンター
北区北7西5札幌千代田ビル1階
TEL011-707-9025

ボラナビでは、表紙の絵を募集しています。

応募の方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方は、こちらからご連絡いたします。

ボラナビの集いのスタッフです。友人の紹介で集いのことを知り、とりあえず出席。結構楽しそうでした。リラックスできる場所だったので、スタッフになろうと決めました。

私ごとですが、昨年の11月のボラナビの集いでステキな出会いがありまして、今年の6月に結婚します。電撃です。友達の輪も広がり、いろんなことがありますよ。足を運んでみてください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

(川上 輝枝)



読者のみなさまへ

・「月刊ボラナビ」を定期的にほしい方、お申し込みください。

定期購読料は、半年1500円で、毎月1部ずつお送りします。2~30部ずつ(札幌市外は12部まで)ご希望の場合は、半年で3000円です。また、これまでの「月刊ボラナビ」をほしい方は、ご希望の号をお知らせの上、郵送費とカンパをお願いします。振込みの際には、お名前、住所、希望部数、FAX番号(もしくはTELかメールアドレス)をボラナビ倶楽部にお知らせください。(口座番号は最終ページにあります)。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

広告掲載は、縦4センチ横13センチで6万円です(版下製作もできます)。ボラナビ倶楽部への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させていただいています。企業の方には負担をおかけしますが、広告の数が限られるため目立ちます!掲載希望の際は、ご連絡ください。

※「月刊ボラナビ」は、毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、JR駅、区役所や社会福祉協議会を中心に350カ所で無料配布しています。

今月協賛して下さった方々 (ナニヌ順)

- ・ 中道リース株式会社 様
- ・ 幡本印刷株式会社 様
- ・ ほくてんぼるねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)
- ・ 北雄ラッキー株式会社 様
- ・ 株式会社ホクレン商事 様
- ・ 株式会社北海道アルバイト情報社 様
- ・ 北海道紙商事株式会社 様
- ・ 北海道技術士センターリージョナルステート研究会 様
- ・ 北海道振興株式会社 様
- ・ 北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・ マイクロソフト株式会社 様
- ・ 真屋 幹雄 様
- ・ YOSAKOIソーラン祭り学生実行委員会 様
- ・ 株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・ 赤帽北海道事業本部 様
- ・ 有田 様
- ・ 池田 千枝子 様
- ・ NPO 越智基金 様
- ・ 神生 総一 様
- ・ 有限会社 こみゆねっとシナプス 様
- ・ 札幌こぶしくリニック 様
- ・ 札幌信用金庫 様
- ・ 札幌通運労働組合 様
- ・ 札幌ポブラライオンズクラブ 様
- ・ 澤出 桃姫子 様
- ・ 島 義慈 様
- ・ 城宝 和茂 様
- ・ 進藤 芳彦 様
- ・ 生活クラブ生活協同組合 様
- ・ 高垣 正計 様
- ・ 株式会社土屋ホーム 様
- ・ 時任 生子 様

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかなっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(番号分まとめたの振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。6月号に掲載を希望される場合は5月25日までに送り下さい。読者の声等への投稿もお待ちしています。

ボラナビ

CLICK!

ホームページアドレス

<http://www.infosnow.ne.jp/volunavi/>

メールアドレス

volunavi@mb.infosnow.ne.jp

月刊 ボラナビ

■発行:ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899(電話はかかりません)

■発行日:2001年4月25日

■発行部数:25,000部

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社